

氏名 渡邊久美
授与した学位 博士
専攻分野の名称 医学
学位授与番号 博甲第 4327 号
学位授与の日付 平成23年3月25日
学位授与の要件 医歯学総合研究科病態制御科学専攻
(学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目 A One-Message Question in a Structured Interview:
Investigating Psychological Needs of Children and
Adolescents with Eating Disorders Directed toward
Their Mothers
(構造面接におけるワンメッセージクエスション：
小児期及び思春期摂食障害患者の母親への心理的欲求の
調査)

論文審査委員 教授 内富庸介 教授 大塚頌子 准教授 児玉順一

学位論文内容の要旨

小児期及び思春期の摂食障害患者は、低い自己主張性と様々な食行動異常のために、母親に理解されにくく、しばしば母子関係は混乱をきたす。本研究では、子どもの摂食障害患者の言語化能力の乏しさを補うために One Message Question(OMQ)を含む構造面接を開発し、これを用いて患者の母親に対する心理的要求を明らかにした。また、心理的欲求のカテゴリーと病期との関連性を検討し、臨床での OMQ の活用方法を考察した。

OMQ を含む構造面接は 23 名の患者に実施され、患者の背景について親(母親 22 名と父親 1 名)から情報を得た。患者の平均年齢は 15.8 年、平均発症年齢は 13.5 年であった。病型は拒食症(n=20)、神経性大食症(n=3)であり、病期は拒食期(n=5)、過食期(n=7)、慢性期(n=3)、安定期(n=8)に特定された。OMQ では全症例から具体的回答を得ることができ、また、食関連の回答の表出はなかった。患者の母親への心理的要求は、密着欲求、目標達成への協力要請、愛情希求、家族員への態度変容、自立尊重、謝罪表明、感謝の伝達の 7 カテゴリーが明らかにされ、病期と関連する傾向を認めた。以上より、OMQ で得られる情報は母親における子どもの心理的要求の理解を深め、回復に向けた積極的な相互作用の促進に有用である可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

特異な食行動や言語表出の少なさから小児・思春期にある摂食障害患者の母親への心理的欲求を把握することは困難を極めるが、本研究はその心理的欲求を明らかにする目的に行われた。23 名の摂食障害患者を対象に、著者らによって開発された One Message Question(たった一つだけ母親に今伝えたいメッセージは?)を用いた構造化された面接法により行われた。その結果、密着要求、愛情希求、目標達成への協力要請、家族員への態度変容、自立尊重、謝罪表明、感謝表明など 7 つのカテゴリーを明らかにしたものである。さらに、母親への心理的欲求は、摂食障害の臨床病期(拒食期・過食期・安定/慢性期)や欲求充足度との関連を認め、臨床的にも極めて有用である可能性を示唆したものとして、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。